

京都大学外科学教室開講九十周年記念講演会を開催して

京都大学外科学教室は1899年（明治32年）7月、京都帝国大学医科大学開設と同時に開講され、同年12月11日診療を開始致しておりますので1989年（平成元年）12月を以って90周年を迎えたこととなります。

90周年を記念して、平成元年12月2日講演会を企画致しましたところ、超ご多忙な田辺達三日本外科学会会長、出月康夫教授、杉町圭蔵教授がご承諾下さり、格調高い有益な御講演をいただきまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

京都大学外科学教室は、創設のはじめから intranational でなく international であれ、第一講座、第二講座はお互いに協力し、一つの教室であれという教えがあり、同門先輩の悲願であります。同日は、多くの先輩の御誠意と日笠頼則名誉教授、小澤和恵教授の御善意によって、両講座で90周年を記念し得たことを心より嬉しく存じております。

70周年・昭和44年は、学園紛争の真只中、80周年・昭和54年は、紛争後の虚脱の中にあり、開講を祝賀出来たのは何年ぶりでしょうか。

出席された多くの同門の諸先生方と共に、心から喜び開講を祝賀致しました。

ここに、講師3先生のご了承を得て、記念講演会の要旨を残すことと致します。

平成元年度外科学教室主任

戸 部 隆 吉